



2012年4月10日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

## 「スマ・エコ オリジナル」搭載の「D-HEMS」が HEMS導入事業の補助対象機器に指定されました

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）のスマートハウス「スマ・エコ オリジナル」に搭載している「D-HEMS<sup>※1</sup>」が、一般社団法人 環境共創イニシアチブ（以下、SII）が公募した「平成23年度エネルギー管理システム導入促進事業（HEMS<sup>※2</sup>導入事業：経済産業省委託）」において、補助対象機器に指定されました。

「スマ・エコ オリジナル」を購入された場合、SIIからお客さまに10万円が補助されます。<sup>※3</sup>

- ※1. 太陽光発電システムや蓄電池などの先進のエネルギー設備と連携させ、家庭内のエネルギーを最適に制御する当社オリジナルエネルギーマネジメントシステム。
- ※2. ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略で、ICT技術の活用により、人に代わって住宅のエネルギー管理などを支援するシステムのこと。
- ※3. SIIの補助事業が開始され次第、2014年1月末まで補助されます。

### ● 「平成23年度エネルギー管理システム導入促進事業」について

本事業は、経済産業省が電力需給対策の一環として、一般家庭等での電力需要調整効果を高めるHEMSの導入に際し、設置費用を補助（定額：10万円）し、エネルギー使用の効率化や電力需要の抑制を図ることを目的として実施するものです。

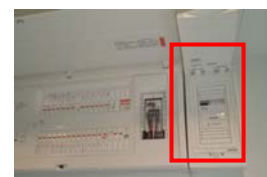
#### 1. 補助対象機器

今回補助対象機器の指定を受けたのは、「D-HEMS」内のホームサーバーと、電力量計測装置です。

ホームサーバーには、アプリケーションの追加更新ができる基本ソフト「OSGi<sup>※4</sup>」上に、国内の家電・設備機器制御の標準規格である「ECHONET」に対応した消費電力を測定するアプリや「住宅API<sup>※5</sup>」等を搭載しています。また、「D-HEMS」は2011年12月に経済産業省よりHEMSの標準規格として推奨された「ECHONET Lite」への対応も進めています。



ホームサーバー



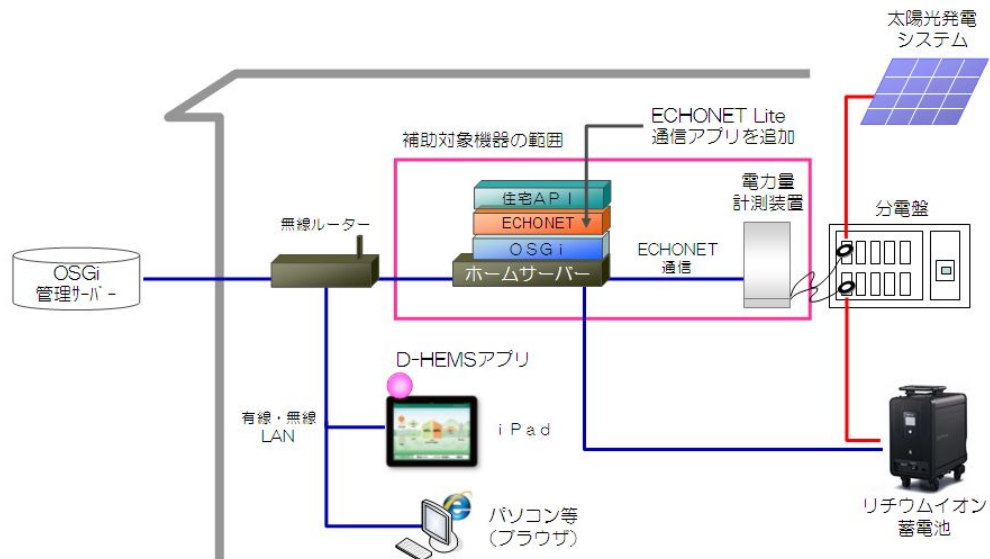
電力量計測装置

※4. 標準化団体OSGiアライアンスにおいて仕様策定が行われているオープンなソフトウェア部品化技術のこと。

※5. スマートフォン等、Webに対応した様々な端末でアプリを開発するためのツール。

<http://www.daiwahouse.co.jp/lab/HousingAPI/>


● 「D-HEMS」のシステム概要と補助対応機器の範囲



2. 今後について

今後、当社は「D-HEMS」によるエネルギーの「見える化」だけでなく、エアコンや給湯器、照明器具などの家電・設備機器制御も含めた、より効率的なエネルギー管理システムへと発展させていきます。

また、それらの情報を活用した周辺サービスの拡充のため、様々な企業とのコラボレーションを推進し、スマートハウスの可能性を広げていく予定です。



未来を、つなごう

**We Build ECO**

私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以 上

お問い合わせ先	
広報企画室	0 6 ( 6 3 4 2 ) 1 3 8 1
東京広報グループ	0 3 ( 5 2 1 4 ) 2 1 1 2